

令和7年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(桜ヶ丘小学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	学年	小4	小5	小6	小4	小5
桜ヶ丘小	上回った	上回った	下回った	上回った	上回った	下回った
埼玉県	52.5	62.8	59.3	66.2	48.3	52.4

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	学年	小4	小5	小6	小4	小5
桜ヶ丘小	上回った	上回った	下回った	上回った	上回った	下回った
埼玉県	5-B	6-B	7-C	4-A	5-B	6-C

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数			
	学年	小4	小5	小6	小4	小5	小6
桜ヶ丘小			下回った	下回った		下回った	下回った
埼玉県			3	2		2	2

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
		桜ヶ丘小	埼玉県	桜ヶ丘小	埼玉県	桜ヶ丘小	埼玉県
深谷の子6つの誓い	・将来の夢や目標を持っている	97.0	90.6	88.9	88.5	88.7	83.9
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	82.4	78.6	70.4	77.0	75.0	77.4
	・自分からはつきり挨拶をすることができます	82.4	81.5	90.1	82.0	78.4	84.5
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができている	78.2	77.8	80.2	80.7	83.0	87.4
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる	90.2	85.5	93.8	86.9	88.7	89.4
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	66.6	54.2	76.6	49.2	61.3	51.6
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	59.8	52.8	67.9	54.0	73.8	53.9
学習等への関心	・授業で学んだことを、日常の生活に生かせると感じた	81.4	75.6	82.7	76.0	79.6	77.5
	・将来どの学校まで進みたいと思いますか【大学以上】	44.0	36.6	37.1	67.4	50.1	40.0
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	78.5	73.5	72.8	70.5	76.2	66.5
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	83.3	78.6	80.2	74.1	78.4	69.0
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	78.4	75.9	90.2	79.8	72.7	80.3
	・国語や算数の授業で、週1~2回程度以上タブレットを使っていた(2項目の平均として)	44.1	45.1	54.9	48.9	53.4	57.1
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	33.3	21.6	44.4	24.5	38.6	23.4
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	98.0	94.2	100	94.8	93.1	94.8
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	98.0	85.3	97.5	90.0	84.1	92.4
	・学級での生活は楽しい	96.1	94.4	98.8	92.8	93.1	92.3

【質問紙分析】

- ・「地域の歴史や自然に关心をもっている」の割合が県平均と比べて高いのは、図書室前の空間に地球儀、拡大された地図、世界の民芸品や偉人コーナーなどを設置した「知識の杜」を設置し、关心や学びを広げる環境が整えられたからだと考えられる。
- ・「昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した」の割合が県平均と比べて高いのは、朝のタブレットタイムや児童一人ひとりがタブレットを活用している授業、タブレットの録音機能を生かした音読の宿題など、常時利用する割合が多いからだと考えられる。

伸びが見られた学級・教科での取組

【国語】

伸びが見られた学級では、

- ・全校朝会での校長講話の要約や行事のふり返りシートを実施するなど相手に伝わる文章を書く取組を行っていた。また、普段の授業において書く活動を工夫して取り入れていた。
 - ・非認知能力の高い学年では、認め励ます声掛けが多く行われていた。
- など、自分の考えをまとめる機会を多く設定し、作文の要領を得たり自信がついたりした結果、上回ったと考えられる。

【算数】

- ・年間において、45分間の授業の中で、自力解決の時間を確保し、適応問題を必ず解かせていた。
 - ・板書、ノート指導など、事前に計画し、わかりやすい授業を心がけ、教材研究を行った。
- などの手立てを工夫し、基本的な内容の定着を図った結果、上回ったと考えられる。

一人一人をより伸ばすための取組

- ・児童一人ひとりに、より手厚い指導がいきわたるよう、職員によるサポート体制を整える。
- ・学習の成果を個人面談や懇談会、お便りなどで、クラスや児童の課題を伝えたり、相談したりする機会を積極的に設け、学校、家庭、地域が一体となって取り組めるようにする。
- ・理由や根拠を問い合わせる時間と記述する時間の確保する（なぜ、どうして、問い合わせなど）
- ・新しい掲示物の「発表の仕方（話の聞き方）」を意識して意見を発表する時間を行う。